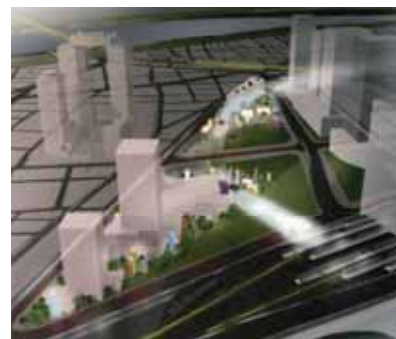


③-4 うめきた2期区域について

関西経済同友会 (うめきた2期開発への提言)

○知の拠点は、さらにみどりの拠点到 (H22. 12提案)

- ・2期区域17haのうち、道路や駅前広場を除く10.5haの3分の2(約7ha)を大阪市が取得しオープンスペースとする
- ・オープンスペースは、大阪市の整備する公園と民間の開発されるオープンスペースで構成される



提案イメージ

○うめきたを世界に誇れるみどりの玄関に (H24. 3提案)

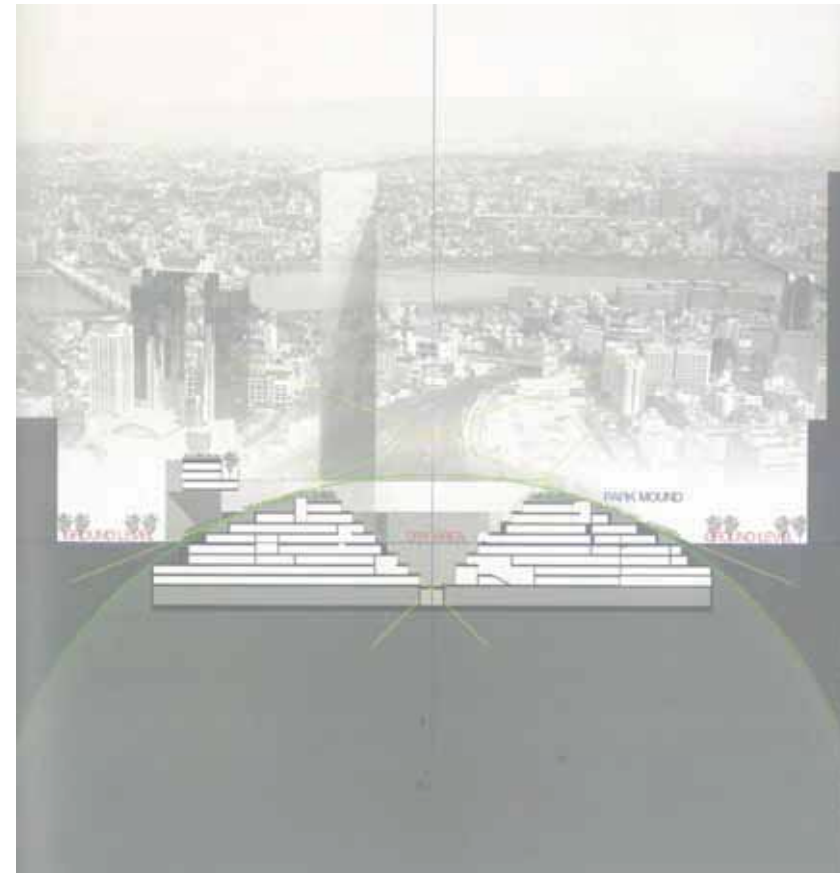
③-5 うめきた2期区域について

関西経済連合会 「うめきたⅡ期開発案H24.3.12」



③-6 うめきた2期区域について

安藤 忠雄氏からの提案



「対決。水の都 大阪vsベニス
安藤忠雄建築展2009」資料

④-1 「みどり」の事例と効果

～文化施設と一体となった「緑」の整備～

ミレニアム・パーク(シカゴ)



【概要】

- ・2004年の6月24日のオープン
- ・シカゴ市民からの反響は熱狂的で、世界中からも名声を受け、シカゴの重要なアイコンとなっている。
- ・主要施設として、ジェイ・プリツカー・パビリオン(野外コンサート会場)やハリスシアター(劇場)等がある

(項目)	(概要)
対象面積	9.9ha (約29,376坪)
総事業費	約4億7千5百万ドル

～大規模な屋上緑化の事例～

なんばパークス



【概要】

- ・2003年10月 1期開業
- ・2007年4月 全館グランドオープン
- ・屋上公園「パークスガーデン」
約11,500m²
(第1期:約8,000m²
第2期:約3,500m²)

(項目)	(概要)	
	1期	2期
敷地面積	22,281m ²	11,448m ²
建築面積	16,400m ²	9,100m ²
延床面積	167,200m ²	76,600m ²

○直接的な経済波及効果 ～なんばパークスの事例

- ・なんばパークス（屋上公園11,500m²）においては、
緑化により年間92億円の売上効果

施設を訪れる動機として、緑化が寄与する度合いから試算
(建築研究所住宅・都市研究グループ 資料〔日経アーキテクチャー 2010.10.11〕より)

④-3 「みどり」の事例と効果

～建築施設を地下化し上部を公園利用～

大阪市中心中央体育館



【設計コンセプト】

- 地下の恒温性や断熱性といった熱特性を活用して、空調エネルギーを必要とせずにアリーナの快適な温熱環境を創る。
- 自然換気や自然採光の自然エネルギーを利用する。
- 「土」「風」「光」の自然エネルギー要素を融合し、有効に利用できるために必要な技術を導入する。

(項目)	(面積)
敷地面積	123,986m ²
建築面積	408m ²
延床面積	42,665m ²

④-4 「みどり」の事例と効果

～立体都市公園制度を活用した事例～

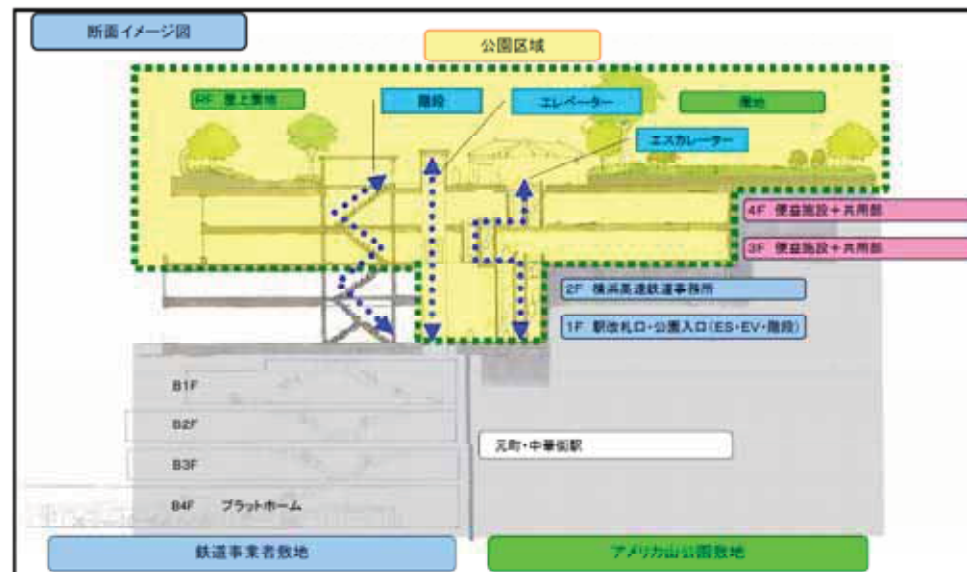
アメリカ山公園(横浜)

【概要】

●みなとみらい線「元町・中華街駅」の
駅舎上部とアメリカ山敷地を一体的に
 整備した全国初の「立体都市公園」。

(項目)	(概要)
対象地	横浜市中区山手町
対象面積	約0.55ha
種別	風致公園

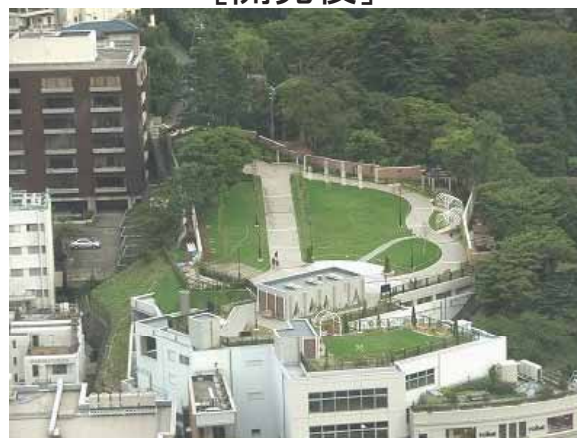
[アメリカ山公園イメージ]



[開発前]



[開発後]



(資料) 横浜市環境創造局ホームページ掲載資料より

④-5 「みどり」の事例と効果

～公園と民間開発の一体施行事例～

東京ミッドタウン

[緑の整備状況]



【概要】

- ・2000年、防衛庁本庁の移転を契機に始動した、広大な緑を臨む港区立檜町公園を含めた再開発事業。
- ・2001年9月、コンソーシアム6社がこの土地を落札することで、このプロジェクトはスタート。民間都市再生の事業認定を受け、2007年3月にグランドオープン。

(項目)	(概要)
対象地	東京都港区
対象面積	敷地面積: 68,891 m ² うち緑地面積: 40,000m ²